

## 全校朝礼(放送:『いじめ(いのち)について考える日』)

- ・ 皆さん、おはようございます。今日は、大阪市立の全小・中学校では、『いじめについて考える日』と併せて『いのちについて考える日』が設定されています。(中略:設定の経過)
- ・ 「『いじめ』とは何か？」を簡単な言葉で表すと、ある人の言葉や行動などによって相手が少しでも嫌だと感じたら、これは『いじめ』ということです。
- ・ 学校のような集団で生活している以上、「あの人は、ちょっと苦手」や「あの子とは、気が合わない」など、誰にでも人の好き嫌いがあるのは当たり前のことですが、そのことが時に『いじめ』につながっていくこともあります。
- ・ そういうことから考えると、『いじめ』は、「いつでも」「どこの学校にでも」「誰にでも」起こりうることであり、北稜中学校も例外ではありません。私は、集団で生活している以上、『いじめ』のない学校は、おそらくないであろうと思っています。
- ・ 皆さんに知っておいてほしいことは、「どのような理由があろうとも、『いじめ』はいのちをもおびやかす行為であり、絶対に許されない行為である」ということです。
- ・ 『いじめ』が起こった時には、どんな小さな出来事でも、いじめを受けた相手にとっては、とても大きなことかもしれませんので早い時期に解決を図ることが大切なことです。
- ・ もし、自分が相手に嫌なことをした(してしまった)と思ったら自分から謝るなど、相手の気持ちを考え自分たちで解決できることが、まずは一番良い方法であると思います。
- ・ ある調査では、いじめを受けた時に約 2 割(10 人おれば 2 人)の人は友だちに相談すると回答しています。周りの友だちの力を借りて、自分たちの集団の中で解決していく力を身につけることもとても重要なことです。
- ・ ただ、いじめを受けた約 2 割の人は「誰にも相談しない」とも回答しています。また、小学生から中学生にかけて学年が上がるにつれて、「いじめが起こっていることを分かりながら見て見ぬふりをした」という回答が増えているのは、たいへん気になることです。

- ・ 特に、思春期の時期にある皆さんは、感受性も強く、悩みの多い年頃です。友だち同士ではどうしても相談が無理な時には、家族や先生・スクールカウンセラー などの大人の力を借りてほしいと思っています。
- ・ 「いじめられていることをどうしても親や先生に知られたくない」などの理由で相談できない人は、『いじめに関する相談窓口』があることも知っておいてください。北稜中学校のホームページの右上にバナーがあり、『相談窓口』へリンクしています。
- ・ 先日の全校朝礼で生徒指導主事の宮田先生からもお話がありましたが、皆さんの持っている教育情報利用 PC からは、話を聞いてほしい先生を選んで相談できる『相談申告機能』も設定されていますので、併せて知っておいてください。
- ・ また、SNS 等による根拠のない悪口や、他人を傷つける言葉などの誹謗中傷も、未だに大きな社会問題になっていることから、学校では気づかないもの・気づきにくいものも多くあると思います。
- ・ 『いじめアンケート』についても皆さんの持っている教育情報利用 PC で定期に実施をしています。アンケートには、自分に関わること・友だちに関わることなど、少しでも気になることがあれば知らせてほしいと思います。6 月には、担任・学年の先生方との『教育相談』も予定されています。
- ・ 最後に、北稜中学校の生徒の皆さんが、相手の立場を考え、あたたかい言葉をかけあえることで、『いじめのない優しさ溢れる学校』になることを願い、併せて、生徒の皆さん一人ひとりが、かけがえのない自分自身の『いのち』を大切にしてほしいと強く思っています。
- ・ 『いじめについて考える日』『いのちについて考える日』のお話は以上です。学年や学級でも今日の取組を通じてすべての生徒が安全で安心して生活できることを願います。

### 【いじめの定義】

「『いじめ』とは、児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。」